



公益社団法人

日本語教育学会

2017年度第4回支部集会【中部支部】開催報告

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2017年7月8日（土）

会場：名古屋工業大学 52号館

参加者：122名（会員87名・一般35名）

最高気温36度が予想されるなか、7月8日名古屋工業大学で支部集会【中部支部】が開催され、120名を越える方々に参加いただくことができました。

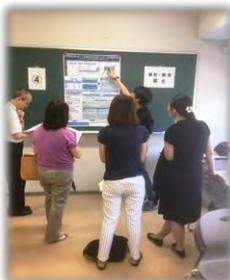
日本語教育学会は2013年3月に公益社団法人となり、その後約4年をかけて学会の「[理念体系](#)—[使命](#)・[学会像](#)・[全体目標](#)・[2015-2019年度事業計画](#)」をまとめてきました。支部活動もこの理念に基づいた新しい事業の一つです。中部支部で初めての支部集会を記念して開会式では、尾崎明人元会長による講演「公益社団法人日本語教育学会に期待すること」、支部活動委員による事業説明「理念体系と新たな支部活動について」が行われました。



開会式の講演



交流ひろば



ポスター発表



口頭発表

午前中にはポスター発表4件、交流ひろば8件が並行して行われ、昼食時の委員会コラボ企画「昼食交流会」では[調査研究推進委員会による「ワールドカフェ」](#)、[チャレンジ支援委員会による「発表応募支援セミナー」](#)が行われました。

午後は信州大学の徳井厚子先生によるワークショップ「見つめ直してみよう 対人関係とコミュニケーション」で始まり、最後に口頭発表3件で幕を閉じました。

参加者からのアンケート結果によると「盛りだくさんで充実した1日だった」のように、いろいろな企画を組み込んだことについて好意的なコメントも多く、新しい支部集会の方向性を示すことができたのではないかと感じています。その一方「企画と企画が詰まってゆっくり休めない」という声や、広報が学会事務局からのメールが中心であったため「昼食持参の昼食交流会だということもしっかり伝えてほしい」という指摘もありました。これらの声も反映しつつ、今後の支部集会のあり方を検討していきたいと思います。



ワークショップ

（報告者：支部活動委員 衣川隆生）